

第 26 回 PET 分子イメージングセミナー
放射線科学基盤機構セミナー

がん間質を標的とした新たな診断と治療
— New theranostics targeting fibroblast
activation protein in cancer stroma —

日時: 11月27日(水) 17:00 - 18:00

場所: 大阪大学医学部講義棟3階 E 講堂

演者: **Frederik L.Giesel** 先生

独ハイデルベルク大学病院 核医学科 Vice Chair
大阪大学 放射線科学基盤機構 特任教授



がん間質はがん細胞の増殖に必要な環境を作るとともに、抗がん剤が届くのを防ぐバリアにもなっています。FAP（線維芽細胞活性化タンパク質: Fibroblast Activation Protein）は多くのがん種の間質に発現が認められる一方で、正常組織での発現は少なく、がん特異的なマーカーとして注目されています。現在、FAP をターゲットにしたリガンドがハイデルベルク大学で開発され、がん特異的なイメージングや治療が可能となっています。大阪大学ではクロスアポイントメント制度により放射線科学基盤機構の特任教授に就任された Giesel 教授と共に FAP をターゲットにしたアルファ線核医学治療に関する研究を展開しています。本講演では、FAP リガンドを用いた新たな PET 画像診断と治療について、紹介して頂きます。

主催: 大阪大学大学院 医学系研究科 核医学、
附属未来医療イメージングセンター(TMIC)
大阪大学 放射線科学基盤機構



Osaka University
Graduate School of Medicine

問い合わせ先:

〒565-0871

大阪府吹田市山田丘 2-2

06-6879-3800

info@pet.med.osaka-u.ac.jp